

1 学校教育目標

広い視野をもち、夢を追いかけ、未来にはばたく人間を育成する。

- ・自ら学ぶ人
- ・協力しあう人
- ・健やかな人

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ生徒を育む学校 ・豊かな心を育む学校 ・地域が誇れる学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・目標をもって自ら学ぶ生徒 ・規範意識をもって互いに協力しあう生徒 ・健康を意識し、体力向上に努める生徒
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・向上心をもって実践力、指導力を高める教師 ・生徒に寄り添い、情熱をもって職務を遂行する教師 ・生徒、保護者、地域から信頼される教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

生徒たちは日々学習、行事、委員会活動、部活動に精力的に励み、概ね落ち着いた環境のもとで生活している。前年度の成果と課題については以下の通りである。

- ① 基礎学力定着について。日ごろの学習指導、学力向上策により区学力調査結果では目標値に達した。しかし、下級生を中心に不安材料がみられるのでその改善に全校体制で取り組む必要がある。
- ② 全体的には落ち着いた学校環境であるが、集団生活に十分適応できない生徒や規範意識の低い生徒もいる。豊かな心の育成や適切な行動が身に付く指導を通じてそれらの状況を改善していく。また、不登校対策については、一人ひとりの状況把握と今後の対策を組織的に検討して進める。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H30	R1	R2	R3	R4
1	学力向上アクションプラン（基礎学力の定着とICTの活用推進）	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成と自尊感情や自己有用感を高める指導の充実	○	○	○	○	○
3	地域との連携強化			○	○	○

5 令和2年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン（基礎学力の定着とICTの活用推進）							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題			達成度 ◎○△●		
区学力調査通過率の引き上げ		区学力調査目標 64.5 年度末到達目標 65.0 (区調査問題の活用)		自己評価項目は年度末に記入					
B 目標実現に向けた取組み									
新・ 継	アクション プラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	タブレットを活用した授業推進	全教科	年間	授業内容に即して効果的な場面でのタブレットの活用	年2回の授業観察時に実施の確認	全ての教員の実施(100%)			
2 新規	指導案に基づく授業観察	全教科	年2回	足立スタンダードを意識した指導案の作成と授業実施	年2回の授業観察時に実施の確認	全ての教員の実施(100%)			
3 継続	学習コンテスト (漢字・計算・スペリング)	全学年	年3回	【指導体制】全教員 【取り組みのねらい・内容】 国語(漢字)・数学(計算)・英語(英単語)の学習方法を身につけ、基礎的な内容の定着を図ると同時に、生徒に達成感を持たせ、自己肯定感を高める。 プレテストで合格点に達していない生徒については、学年教員によるグループ指導を行う。	プレテスト本テストの実施	合格率80%をめざす。			

4 継 続	家庭学習 (ノート) の充実	全学年	毎日	<p>【指導体制】全教員</p> <p>【取り組みのねらい・内容】 学習の基本となる授業内容 の理解と定着を図る。 毎日1ページ以上の家庭学 習を行い、始業時に提出、午 前中に点検し、返却する。一 人ひとりの学習の状況に応じ て、学習内容のアドバイスを 行う。 実施できていない生徒に は、その日のうちに確実に学 校で学習させる。</p>	毎日のノー ト点検	提出率 100%を 完全実施する。	自己評価項目は年度末に記入		
-------------	----------------------	-----	----	---	--------------	----------------------	----------------------	--	--

重点的な取組事項－2	豊かな心の育成と自尊感情や自己有用感を高める指導の充実
-------------------	-----------------------------

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
学校生活が楽しいと感じ、安心感や自己有用感をもつ生徒の増加	区「学習や生活に関するアンケート」で70%以上の肯定的評価	自己評価項目は年度末に記入		

B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自尊感情を高め、豊かな心をはぐくむための道徳指導の充実	自分を肯定的に捉え、他者への思いやりなどでの肯定的な評価が70%以上。	全教員による道徳授業の実践と評価活動の充実。人権学習週間の充実。	自己評価項目は年度末に記入		
自己有用感や向上心を高めるための学級指導や行事指導の充実	自己有用感や安心感などに関わる肯定的な評価が70%以上。	学級活動や学年・学校行事での生徒の自立的活動の推進および生徒会活動の活性化			
図書室の利用促進と読書活動の推進	学校図書室の利用者数及び貸出図書数の増加	委員会活動とタイアップした学校図書室PR活動の充実			

重点的な取組事項－3		地域との連携強化			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
地域からの信頼に応える活動を通じて、地域小学校から入学する生徒の高い割合を維持。		地域小学校からの平均入学率 70%	自己評価項目は年度末に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
小中連携事業の充実を通じた小学校との信頼関係づくり	規定の授業研修会以外にもさまざまな小中連携事業の実施	合同研修会および中学校体験入学などの実施。また、小中共通の足立スタンダードに基づく授業研究の実施。	自己評価項目は年度末に記入		
地域行事や地域小学校での貢献活動や交流を深める活動の推進	ボランティア活動参加生徒のべ 200 名以上	地域行事への生徒ボランティア活動の積極的な参加と行事での児童など異年齢交流の活性化。			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

自己評価項目は年度末に記入

(3) その他（学校教育活動全般について）